

# 立川雲平関係文書目録

2013年8月

国立国会図書館憲政資料室

## 立川雲平関係文書目録【凡例】

- ・資料番号1～3は、複数の書簡を収めた巻物である。各々の巻物に収録されている書簡について枝番号で詳細を記した。
- ・資料番号4～13は、表装されていない書簡、漢詩類である。

## 立川雲平関係文書目録

番号	枝番	表題	宛先	元号	年	月	日	数量	内容摘記	備考
1		書簡巻物「心香辭芳」						1巻		
1	1	市邨水香書簡	立川雲平	明治		12	18	1通	京都市議田中督治郎、京鶴鉄道のため上京、会っていただきたし	
1	2	大石正巳書簡	立川雲平			9	21	1通	吉田正春氏御地を通過する予定、同氏との面談を願う	
1	3	栗原亮一(皆無庵)書簡	立川雲平			12	31	1通	俳句談義したいのでお越し下されたし	
1	4	木村行蔵書簡	立川雲平	明治	39	3	15	1通	台湾嘉義村上武八郎韓国裁判官を志願、この旨を松田法相に伝えてほしい	年代は消印による
1	5	松村[介石]カ書簡	立川雲平			11	22	1通	書物交換承知、自由党史の御送付を願う	名は判読不明
1	6	巖谷季雄書簡	立川雲平	明治	30	3	24	1通	尊簡有り難し。薬はいずれ使ってみるつもり	
1	7	島崎藤村書簡	立川雲平	明治	44	5	27	1通	三宅から御聴取のこと感謝、木村老師如何。鮫島理学士は奈良へ。小諸義塾は残念	年代は消印による
1	8	牧田探源書簡	立川雲平			4	10	1通	当地御巡回との事、しかし会えず残念。市邨水香の病状思わしくなし	
1	9	渡辺輝之助書簡	立川雲平	明治	39	9	21	1通	南信での御高作御垂示下されたし	年代は消印による
1	10	笹尾采太郎書簡	立川雲平	明治	44	1	31	1通	お返事遅れ申し訳なし。御子息平君を訪問の予定	年代は消印による
1	11	西園寺公望書簡	長谷場純孝	明治	41	9	29	1通	北信八州大会、病気のため残念ながら出席できず	年代は消印による
1	12	長谷場純孝書簡	立川雲平・翠川鉄三	明治	41	9	30	1通	西園寺総裁より別紙到来、やむなし、了解下されたし	年代は消印による
1	13	御製筆写						1枚	万民の祝 さかへゆくみそのゝたけの露深くうるほいまさる四方の民草 据置貯金 地りひちもつもればやまとなれる世にたゝまこゝろそ宝なりけり	
1	14	森本駿書簡	立川雲平				20	1通	ビール御恵贈感謝	
1	15	鎌原仲次郎書簡	立川雲平	明治	36	6	28	1通	越南生と会し貴兄の話となる。別紙認めたので御吟定を	年代は消印による
1	16	野口復堂書簡	立川雲平			8	9	1通	先年インド人を紹介、最近松村介石宛書簡で小生に言及され感謝。今後のご活躍を期待す	
1	17	久保雅友書簡	立川雲平			1	5	1通	お示しの画、落款なく残念。拙稿尊覧に供したし。絹幅と釣り合い不都合ならば認め直す	
2		書簡巻物(無題)						1巻		
2	1	市邨水香書簡	立川雲平	明治	29	11	22	1通	母死去に際し鄭重な弔辞感謝、本日風呂敷を送付	年代は消印による
2	2	板垣きぬ(退助夫人)書簡	立川しづ子	明治	26	3	8	1通	えがたき守札お贈り下され感謝、ご主人様に宜しく	年代は消印による
2	3	大岡育造書簡	立川雲平	明治	38	1	18	1通	満州より無事ご帰朝を祝し明日新喜楽で御祝い致したし	年代は消印による
2	4	穂積陳重書簡	立川雲平	明治	41	3	17	1通	昨夜の高論は胸襟を開いた気分、陸軍刑法第四十八条のについての御教示感謝	年代は消印による
2	5	河野広中書簡	立川雲平	明治	36	12	15	1通	奉答文議事につき御慰問下され感謝	年代は消印による
2	6	松田正久書簡	立川雲平	明治	41	10	16	1通	至急面談したし、明日午前拙宅まで来られたし	年代は消印による
2	7	栗原亮一(皆無庵)書簡	立川雲平			12	24	1通	仏書二冊受け取った。今日頃通告あると覚悟していたがいまだなし	

## 立川雲平関係文書目録

番号	枝番	表題	宛先	元号	年	月	日	数量	内容摘記	備考
2	8	木村熊二書簡	立川雲平	明治	27	12	27	1通	この度は斯教に御入会のご決意との由、早川氏も御喜びの事でしょう	年代は消印による
2	9	長谷場純孝書簡	立川雲平			1	6	1通	弘法大師書一軸、松方侯へ預けていたのが返戻されたのでお返しする	
2	10	伊藤聴秋(介一)書簡	立川雲平	明治	27	2	3	1通	勝舟(?)先生昨年より手が麻痺したがしだいに快方	年代は消印による
2	11	束松露香書簡	立川雲平	明治	42	2	5	1通	御書状拝見、小生一茶に関する執筆に取り掛かり奇禍に対して御連絡遅れ申し訳なし	年代は消印による
2	12	彦阪秀書簡	立川雲平	明治		8	21	1通	御来青の際はお尋ね下され感謝、当県は野蛮で裁判所長も進歩派びいきなので困る	
2	13	伊藤聴秋(介一)書簡	立川雲平	明治	27	11	23	1通	小生兎角不快、困っている	年代は消印による
2	14	別所吉五郎書簡	立川雲平	明治	44	2	9	1通	旧冬上京の際お世話になった礼状を最近発見、お許し下されたし	年代は消印による
2	15	渡辺国武書簡	立川雲平	明治	34	6	28	1通	明日より欧米視察に出発、政界の状況もあり速やかに帰朝するつもり、協同一致の原則を保つべく尽力ありたし	年代は消印による
3		書簡巻物(無題)						1巻		
3	1	市邨水香書簡	立川雲平	明治		12	31	1通	田中督次郎氏東上の際しお会い下され、さらに御賛成下され感謝、今後も宜しく御尽力を願う	
3	2	山下芳太郎(首相秘書官)	立川雲平	明治	41	1	23	1通	本日の衆議院での御雄弁、西園寺首相も非常に満足したのでその旨をお伝える	年代は消印による
3	3	野沢雞一書簡	立川雲平	明治	44	5	5	1通	星亨伝記執筆のため、西沢常次郎を遣わすのでお話を聞かせくだされたし	
3	4	琢書簡	(立川雲平)				26	1通	小生奸人のため投獄されその後文学に目覚める。どうか詩を送ってほしい	「同県の知人且文学の友人」との書込みあり
3	5	倉澤理一書簡	立川雲平	明治	44	6	12	1通	明日参上致したし	年代は消印による
3	6	久保雅友書簡	立川雲平	明治	44	4	18	1通	小生同門で牧田探源に紹介された八王子寸山和尚をお尋ね下されたし	「辛亥四月十八夜」とあり
3	7	大島久直書簡	立川雲平	明治	39	3	5	1通	小生凱旋へのご祝辞感謝、ただし多くの死傷者を出し面目なし	年代は消印による
3	8	横堀三子書簡	立川雲平	大正	2	3	23	1通	御覧に入れた株に付き、何とか工夫なきや。漢詩文あり	年代は消印による
3	9	横堀三子書簡	立川雲平	大正	2	3	27	1通	デヨツケイ倶楽部の件は小生への株が与えられず公訴するつもり、保里人会一条は曲直をつけたく明日までにお知らせ下されたし	年代は消印による
3	10	大島久直書簡	立川雲平	明治	38	4	28	1通	旅順御来臨の節は愉快、その後お品を御恵投下され幕僚一同に分配	
3	11	三田肇書簡	立川雲平	明治	40	5	28	1通	貴兄よりも諸君に宜しくお伝えを願う。漢詩文あり	年代は消印による

## 立川雲平関係文書目録

番号	枝番	表題	宛先	元号	年	月	日	数量	内容摘記	備考
3	12	東久世通禧書簡	立川雲平			2	3	1通	貴殿より紹介のあった郵便据置貯蓄発起人樫尾銀子の趣意は天覧に達し御賛同あり、貴殿は衆議院の請願委員として活動してほしい	
3	13	石藤謙一書簡	立川雲平			1	25	1通	柳君久しぶり帰省したので飲み、貴君の噂する	
3	14	本多庸一書簡	立川雲平	明治	33	3	26	1通	韓人李範来、姜後善が御地漫遊するので御友人に御紹介下されたし	年代は消印による
3	15	村上文庵書簡	立川雲平	明治	24	12	15	1通	銀行一件いまだ落着せず、強気の人故信じるより他なし。信州紬求めたし	年代は消印による
3	16	高田露書簡	立川雲平			3	2	1通	過日の御遭難何とも遺憾、金三円を差し入れず	
3	17	長谷場純孝書簡	立川雲平	明治	42	3	8	1通	明日三税案廃止法案に対し賛成の発言通告受領、貴兄が賛成するとは驚き	
3	18	後藤象二郎書簡	立川雲平	明治			9	1通	御地(長野県佐久)訪問の際は御厚待に預かり感謝、大会の期日に付き追々お知らせするので御地諸君と宜しくお伝え願いたし	
3	19	益富政助書簡	立川雲平	明治	44	1		1通	鉄道青年会は、御同情をより会員に二万数千名となって盛況	年代は消印による
4~13		表装されていない書簡類								
4		石塚重平書簡	立川雲平	明治	34	12	22	1通	例の件、山内に於いて手違いとなり策尽きる。堀内も致し方ない趣。色部問題の金を融通するか。江藤、龍野と協議を願う	年代は消印による
5		大岡育造書簡	立川雲平	明治	41	7	25	1通	中央新聞工場へお越し下されたし	年代は消印による
6	1	久保雅友覚書	立川雲平	大正	3	4	20	1枚	「卓」と「倬」の字の意味について	「甲寅四月念日」とあり
6	2	久保雅友書簡	立川雲平	大正	15	10	14	1通	古希祝賀	年代は消印による
6	3	久保雅友書簡	立川雲平		6	11	5	1通	御宿痾御快復の由めでたし。東京の林氏は如何	年代は消印による
7		河野広中書簡	立川雲平	明治	36	12	7	1通	衆議院議長当選につき祝電下され感謝	年代は消印による
8		児玉秀雄書簡	立川雲平	昭和	3	6	28	1通	辞職に際し記念品御贈与感謝	
9		神津猛書簡	立川雲平	明治	38	7	4	1通	満韓御旅行の由、帰国後視察談をお聞き致したし	年代は消印による
10		徳富猪一郎書簡	立川雲平	昭和	8	10		1通	『増補国民小訓』が世上に伝播するよう御助力を願う	
11		松田正久書簡	立川雲平			3	21	1通	お約束の物延引、御容赦願う	
12	1	立川雲平漢詩		大正	12	6		1枚	嚶鳴吟社の結城蓄堂、翠堂を迎えた際の漢詩	「癸亥六月旬日」とあり
12	2	(立川雲平)詩歌	吾党諸君子	昭和	3	9	25	1枚	選挙結果についての詩歌	
13		立川雲平書簡(原稿)	福島関東州都督	大正	3	9	3	8枚	在大連労働団に関する調査報告	日本美普教会教報原稿用紙